



おやこであそぼう

～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2017年 4月19日

☆絵本・紙芝居

- いろいろたまご (くもん出版) 作・絵：山岡ひかる
- きょうのおやつは (福音館書店) 作・絵：わたなべちなつ
- たたくとぼん (あかね書房) 作：寺村輝夫 / 絵：和歌山静子
- たまご (金の星社) 作：中川ひろたか / 絵：平田利之
- たまごのさんがね・・・ (童心社) 作・絵：とよたかずひこ
- たまごのあかちゃん (福音館書店) 作：神沢利子 / 絵：柳生弦一郎
- たまごのえほん (童心社) 作・絵：いしかわこうじ
- たまごやきくん (小学館) 作・絵 / 村上康成
- ふしぎなたまご (福音館書店) 作・絵：ディック・ブルーナ
- ひよこ (金の星社) 作：中川ひろたか / 絵：平田利之
- はらぺこぶうちゃんのワクワクピクニック (教育画劇 / 紙芝居)
- ころころころ くるりん! (教育画劇 / 紙芝居) 作・絵：長野ヒデ子



☆わらべた・童謡

♪ずくぼんじょ (佐賀のわらべうた)

*すくぼんじょ・・・つくし *ずっきん・・・頭巾

ずくぼんじょ ずくぼんじょ

ずっきん かぶって でてこらさい

♪チューリップ

さいた さいた チューリップのはなが
ならんだ ならんだ あか しろ きいろ
どの花 みても、きれいだな



♪ちょうちょう

ちょうちょう ちょうちょう

菜の葉に とまれ

菜の葉に あいたら 桜にとまれ

桜の花の 花から花へ

とまれよ あそべ あそべよ とまれ



☆こころとからだのおはなし（3月のお話）

シスター勝が見せて下さったのは『鶏と卵』でした。
ヒナは、殻を割って出ようとする時、内側から殻を
コツコツとつきます。でも、ヒナには、殻をうち破る
大きな力はまだないので、親鳥も外から殻をつついて、
割ってやるのです。



そうしたことを禅では『啐啄同時』というそうです。
ヒナが内側からコツコツ殻をつつくことを「啐」、
親鳥が外側からコツコツ殻をつつくことを「啄」と言い、

そのタイミングが合って初めて、

ヒナは外の世界に出てくることができます。

親鳥とヒナのやりとりは、

動物的本能的によるものかもしれません。

でも、親は「もう出て来ても大丈夫」

という信号を送っているに

違いありません。



ヒトは、知識や経験から、生まれる前の赤ちゃんのために、また、生まれてきた
子どものためにも、もっと精神的な『啐啄同時』ができるのではないのでしょうか？
それは決して難しいことではないけれど、結構、親として、タイミングを外して
しまうことが多いようです。子どもが、自分の力で、なにか行動を起こそうとして
いる時に、親の思うようなタイミングでやってくれないので、待ちきれずに、
ついつい手を出してしまう、なんていうこと、ありませんか？

子どもが欲していない時に、様々な習い事を与えても、何の実りも得ることは
できません。それは親側の安心と満足に過ぎません

子どもたちは、それぞれに素晴らしい個性を持っています。そして心と体の成長の
ペースは、それぞれ異なります。子どもの心と体の成長をよく観察し、子どもたちが
何かを得ようとしている時期を見極めて、欲することを与えて初めて、子どもたちの
心と体に、様々なことが深く浸透していくのではないのでしょうか？

そして、何よりも、生まれてくる赤ちゃんに、生まれてきた子どもに、親が、
今、生きていることが、生きている世界が、生きている時間がどれほど素晴らしい
ものか、ということ、日々の生活の中で語りかけ、姿勢を見せることが何よりも
素敵なことだと思います。

次回は 2017年5月17日（水）

お問い合わせ

クリスト・ロア修道会

TEL 042（465）8620

